



4月 新任式



6月 スタート会



NO.445

R6年9月1日

-発行-

〒869-1217

熊本県菊池郡

大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100

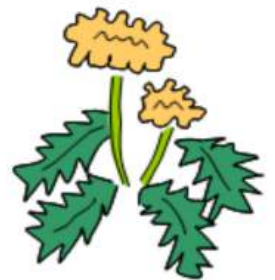
写真で振り返る上半期



7月 じゃがいも収穫

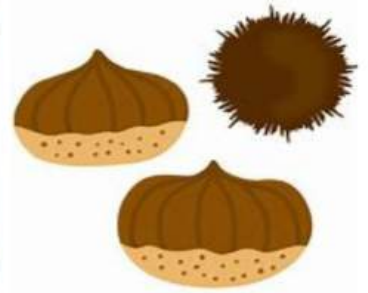


7月 夏祭り





9月



「我慢と再会」

8月は初旬にコロナが流行し、下旬には台風も通過しました。どうしてもお出かけする機会も普段の月よりも減り、我慢の多い1ヶ月だったように思います。

私の担当している方は、生活介護を利用されているのですが、ご自宅に待機して頂く等、ご協力をして頂きました。Aさんのご家族に電話で連絡すると、電話の後ろでAさんの元気の良い声が聞こえる、それだけで安心できました。顔を見ることができない日が続き、2日に一度くらいのペースで連絡をさせて頂きました。コロナの流行も落ち着き、Aさんとやっと会えた時はとても嬉しくなりました。静養されていた方々が、普通の生活に戻った時も、きっと、皆の顔を見ることができて、ほっとしたのではないかと思います。大変なご心配と、ご迷惑をお掛けしましたが、1班の皆さんは今日も元気にお仕事を頑張られています。

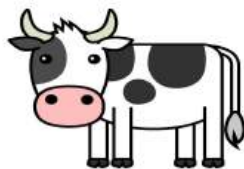
健康で、災害のない日が続きますように。

生活支援員 1班 宮岡 春菜

「アイスクリーム作り体験！」

8月20日、2班レクレーションが実施されました。阿蘇ミルク牧場でアイス作り体験を行い、昼食はお弁当を楽しみました。8月中旬まではコロナの静養で、制限された生活を送られていた利用者の皆さん、...。久しぶりに羽を伸ばすことができ、リフレッシュされたのではないのでしょうか？特にアイス作り体験は、皆さんが楽しみにされていた活動の一つのようでした。最初は液状のアイスが固まるか、利用者さんもスタッフも半信半疑。一生懸命にくるくるポールを回し、へうでかき混ぜます。外側から徐々に固まってくると、「アイスになってる！」と皆さん驚かれ、興味津々で覗き込んでいました。アイスクリームはコーンによそって出来上がり。冷たくて優しい甘さがとても美味しく、皆さんの笑顔が印象に残ったレクレーションになりました。

生活支援員 2班 伊藤 愛理



「はじめまして」

6月より、三気の里で生活支援員として勤務させていただき、約3ヵ月が経ちました。以前勤めていた施設に比べて利用者様が多く、名前と顔を覚えることにはじめは苦戦しましたが、覚えたい一心で、できるだけ多くの利用者様と関わることを心掛けました。今では何人もの利用者様が私のことを覚えて下さり、話し掛けていただけることが日々の楽しみです。今後さらに利用者様のことを知っていきたいと思います。

私が所属している3班は、作業として主に外部の業者から委託を受けた野菜の袋詰め作業や、時には外に出て、園内の畑での農作業に取り組みられています。私は学生の時に農家さんや選果場でアルバイトをしていたことがあるため、作業自体は親しみのあるものでしたが、作業において利用者様それぞれの特性に合った支援を行うことに難しさを感じました。しかし、自分の声掛けや工夫ひとつで利用者様の作業がスムーズに進んだ時にはとても嬉しく思います。まだ至らない点も多いかと思いますが、利用者様の得意なことは活かし、苦手なことは少しでも解消できるような支援に取り組んでいきたいと思います。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

生活支援員 3班 野尻 桃子

「Kさんの夏」

今年の夏は冷房が欠かせない猛暑続きでした。

Kさんは、高校野球を観るのが好きで、甲子園が始まるのを楽しみにされています。今年も観戦されながら、点が入れば手をたたいて嬉しそうな表情。応援しているチームが負ければ「あ～負けた」と残念そうな表情。この夏もKさんのたくさんの笑顔、表情を見せてもらい嬉しく感じました。もう一つこの時期Kさんが気になるのが天気予報です。天気予報を観るKさんの表情は真剣です。試合は行われるのか。選手同様、甲子園の天気が心配なのです。今年のKさんの応援の夏は終わったけれど、来年もまた元気に応援する姿を見せてください。

生活支援員 4班 荒川百合子



「よろしくおねがいします」

4月から三気の里に入職し、BeTREEに配属されて5ヵ月が経とうとしています。

初めは、なかなか心を開いてもらえなかった利用者さんにも挨拶や声かけを続けることで利用者さんからも声をかけてもらえるようになり、色々な話も出来るようになっていきます。BeTREEでは利用者支援はもちろんですが、ショップで販売も行うので、店員として接客も大切な業務となります。レジをはじめ、陳列やドリンク作り、サイドメニューを作ったりと支援以外のことで覚えることがたくさんあります。時には、新商品の開発や試作も行い、初めての分野のことを一杯いっぱいになりながら日々業務に取り組んでいます。

そんな中、「おいしかったからまた来ました」「知り合いを連れてまた来ます」などとお客様に声をかけられると嬉しい気持ちになります。たくさんのお客様に来て頂くことで、利用者さんのお給料にも繋がるので接客やパンについての勉強も頑張っていきたいと思っています。

生活支援員 BeTREE 中嶋 剛

療育雑記

『忘れる』

主任支援員 石丸 直美

66歳になるAさん。あらゆる事柄、その時の感情がその日の日付、その時の状況を含め記憶に残っています。特に嫌悪感に関しては忘れることが出来ないと言った方が適切に思います。幼少時の事柄も未だに繊細に呼び起こされます。ただ66歳になりました、以前のように瞬時に記憶がよみがえることは無く、記憶を手繰り寄せるのに時間はかかるようになり、瞬間的に思い起こすことは減っているようです。しかし忘れることは出来ません。

一方今年69歳になるNさんは、本来周囲の人を上手く信頼できず、被害的感情を抱きやすく、青春期の失敗や不安を抱え続けてきました。Nさんは病気や入院等の環境の変化も影響して、今年になり認知機能で変化が見られるようになりました。もともと高校生の時、様々な精神的不安を抱えるようになり、通学の電車で腹痛を起こすようになりました。失敗を経験し、電車の途中何度も電車を降りてトイレに行くようになり、電車での通学が難しくなりました。それは70歳を目前にする今でも同様で、常に排泄に関する不安からトイレに行き来して日課もままならない。夜間も「出るかもしれない」という思いでトイレに何度も起きる、またトイレに1時間以上座り続け、出ないと諦めて布団に戻るも、出なかった不安からゆっくりと眠れずすぐに起きだすといった状況でした。他の面では被害的感情から「周囲の人が私に意地悪をするに違いない、困らせるために私の物を盗んでいる。」という思いを消せず絶えず持ち物の確認をし、周囲の人に対しても疑心にかわれている日々でした。しかし認知機能で変化が見られるようになり、その時々には嫌悪感を抱くことがあったとしても、すぐに忘れてしまう。また排泄への意識も続かず目の前のこと、周囲の人と関わる中で忘れてしまふ。失敗しても「あーごめん

ねー」と笑いしばらくすると忘れていく。上手くないことにひどく落ち込み、不安にならずに済むNさんなのです。私の母も同じでした。思うように出来ず、よく転倒する、忘れて迷惑をかけることを「情けない」なんてこんなになつたのか」とよく嘆いていました。しかしそのことも忘れるため一緒にいる私は、忘れてくれるから楽になることも多かったです。『忘れられるから生きやすい』ということもあるのだと思うのです。

66歳のAさんに、「Aさんはいろいろな事が忘れられないけど、頭の中が一杯になってしまったらどうなるの？」と尋ねたことがあります。すると「頭が一杯になったら、心に刻むのよ」とニンマリと笑ってAさんは答えられました。どうか良いこと、楽しいことだけを刻んで、辛いことは記憶として残さないで欲しいと思ったのでした。



4班
レクリエーション



GH便り

課長 平川 聖子

グループホーム事業所は平成16年に設立され、今年で20年を迎えました。三気の里から見渡す風景の中にありながら、そこは一人ひとりの家であり、地域での生活を営んでいます。

「できることは自分でやろう、難しいことは手伝ってもらいなからやってみよう」という自立のスタイルは三気の里から継承し、少しずつでも自分でできることを身につけられるよう練習し、得意なことは生活の中の役割として活かしています。休みの日には自分の部屋や共有部分を掃除したり、日用品を買いに出かけたりもしますが、暇があればホームのみんなでカラオケをしたり、ドライブに出かけたりもします。自分の部屋があつて寛ぐ時間があるのもグループホームのいいところ。テレビを観たり、音楽を聴いたり、文字を書いたり、絵を描いたりと思いの趣味の時間ももつていきます。



参加しています。地域の方と交流できるのが楽しみです。

芸術クラブ

生活支援員 伊藤愛理

今回のクラブ活動では利用者さんから手芸のリクエストがありました。「皆さんが楽しんで取り組める題材は何だろう」と本屋で手芸本を探していると、「糸巻花」という本を見つけた。針は使わず、糸と画用紙で作ることができると装飾品で、台湾の伝統技法「春仔花」を作りやすいようにアレンジしたものだそうです。刺繍系で作るもので、光沢があつてとても綺麗な作品に仕上がります。少し太い糸の方が作りやすいので、今回は太めの毛糸に変更して作ってみました。花弁をかたどった台紙に糸を巻いていきます。ポイントには、台紙が見えなくなるように糸をキュッと揃えて巻き付けていくこと。製作が始まると、一気に集中モードに入られる利用者の皆さん。手元を良く見て丁寧に作られています。ひとつひとつが個性的で、素敵なマーガレットが出来上がりました。今後新しいことに挑戦したいと感じた時間でした。



春仔花 (チュンザイホア)

9月スケジュール

09/03(火) 食堂ワックスがけ
 09/06(金) アンパ創作活動
 4班・5班レクリエーション
 09/12(木) 3班レクリエーション
 09/14(土) 家族会
 09/17(火) 避難訓練
 09/19(木) サンキーイーツ
 09/20(金) アンパの日・ゴールドクラブ
 BeTREEレクリエーション

09/24(火) GH避難訓練

毎週月曜日 訪問理容サービス
 毎週火曜日 BeTREE役場販売

BeTREE
 <営業時間>9:30~17:30



betree314



【寄付】

木村栄男様 千田英文様

【寄付物品】

坂梨清美様 藤森稔様

赤星央子様 千田英文様

森川琇介様

【後援会】

小野賢二様 白井桂子様

藤崎喜子様 吉田道子様

佐藤由美子様

【ボランティア】

前淵隆子様 (ブラッシング)

編集後記

今回は、三気の里の皆様の「芸術の秋」をご紹介させて頂きました。

様々な〇〇の秋がありますが、三気の里ではイベントの秋も始まります♪楽しく、そして元気に過ごしていきたいと思います。

森田

芸術クラブの作品をご紹介します



4月 桜



5月鯉のぼり



12月スノードーム



8月 風鈴

